

校長だより

福津市立福間東中学校
校長 猪股 清貴
平成 27 年 6 月 2 日 No12

スマホ社会の対応策について学びました



5月30日(土)規範教育推進事業の一環として「スマホ社会の対応策」について、保護者の皆さんとともに考える機会を設定しました。1時間目の授業参観の後、70名近くの方が生徒と一緒に講師の話に耳を傾けてくださいました。講師の先生は「NPO法人子どもとメディア」の公式インストラクターであり、高校生と中学生のお子さんをお持ちのお母さんでした。ご自身のご家庭での体験談も交えながらの分かりやすい話でアツと言う間に45分が経っていました。話を聞きながら中国の孫子の有名な言葉を思い出しました。

彼を知りて^{おのれ}己を知らば、百戦して^{まぶ}殆ふからず、(中略)、彼を知らず己を知らざれば、戦ふ毎に必ず敗る。

訳：相手のことをよく理解し、なおかつ自分自身のことよくわかっていれば、百回戦っても負けることはない。(中略)、相手のことを理解せずに、自分自身の長所短所も分かっていなければ、戦っても必ず負ける。

つまり、相手と自分の長所短所を見極めて事を処すれば、どのような場合でも失敗することはないということです。

スマホ・ネットの便利さと危険な面をしっかりと理解し、また、自分自身の良さと弱点を十分に自覚したうえで利用することの大切さを学ぶことができました。

参観された保護者の感想を紹介します。

「インストラクターの方のお話が子ども目線でとてもよかったです。時間が1時間と限られていたので、少し物足りない感もありましたが、家庭で子供と今日のことを振り返りたいと感じました。」

「スマホの危険性について考えさせられる内容でした。家に帰って十分に親子で話し合ってみようと思います。」インストラクターが話をされた内容は右の本の中により詳しく解説されています。興味のある方は是非読んでみてください。

書名：「ネットに奪われる子どもたち」
～スマホ社会とメディア依存への対応～

著者：清川輝基 編著

古野 陽一・山田 真理子 著

(NPO法人子どもとメディア)

発行：少年写真新聞社

これ以外にも関連図書はたくさんあります。

